

【資料2】

令和3年度事業

大槌町総合計画行政評価書

令和4年8月9日（火）

大槌町

第9次大槌町総合計画前期基本計画　【令和3年度主な施策の推進状況】							【目指すまちの将来像】		魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌					【第1章】	
第1章		産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり					第1節(施策)		おおつちの自然を活かし、継承する一次産業の実現						
施策の展望		町の基幹産業として、魅力的な農林水産業の確立と新規就業者の確保及び経営の安定を目指します。													
主な取り組み							目標指標　（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目		単位	目標値　( )…基準値		令和2年度		令和3年度	
										数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	生産性の向上及び安定収量の確保						1	農地高活用転換面積（累計）	ha	10 (5.2115)	↗	7.0646	↗	6.6039	↗
2	生産から、流通販売までの一貫したスキーム強化						2	大槌魚市場水揚額	千円/年	687,196 (367,172)	↗	154,478	↘	152,061	↘
3	第一次産業の担い手の確保・育成						3	第一次産業新規就業者数（累計）	人	12 (6)	↗	4	↘	12	↗
4	森林、農地、漁場などの環境整備						4	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下		
事業数	28 事業	0 事業	20 事業	7 事業	1 事業	0 事業	事業数	9 事業	2 事業	6 事業	1 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価		事業概要				令和3年度　実績				
1	産業振興課	農業振興事業			A		農業者の生産活動及び農業の普及活動の推進を図るため、農業者団体等が所得確保のため行う <b>農産物の生産に要する経費に対して補助</b> します。				農家のニーズに即した要綱等の改正を行い柔軟な対応を実施したほか、新規就農者に対する経営開始直後の設備投資等への支援、農家のニーズに合わせた国・県補助事業の実施に向けた支援を実施しました。（総額22,669千円）				
2	産業振興課	水産業振興事業			A		地域水産業振興ために、漁協を通じて漁業生産者を支援し、生産性の向上及び安定収量の確保を図ります。また、復旧復興から産業振興へとシフトする中で、生産量及び担い手の確保のため、稚貝等の放流事業や新規就業支援等を行います。				漁業生産者支援のため、漁協等に対して種苗放流や魚市場水揚げ奨励金等の助成を行いました。（総額15,711千円）				
3	産業振興課	大槌町地域産業イノベーション事業			S		新産業創出のため、農林水産業生産物の養殖栽培実証を行い、新規種目や生産量の拡大を図ると共に、これら生産物を基に新たな加工品の開発や付加価値化を促進し、 <b>一次生産から二次加工、販売までの一体的な産業の活性化</b> を図ります。				岩手大槌サーモン養殖事業に係るマーケティング及び稚魚養魚場の改修、増産に伴う稚魚場の事前調査を行ったほか、活性化センター運用を行いました。				
4	産業振興課	磯焼け対策事業			A		磯根資源の回復のため、 <b>調査、ウニの食害対策など、漁場環境の整備</b> を進めます。				新たに「船越湾吉里吉里フィッシャリーナ周辺　小久保海岸」と「大槌湾南掛～七戻周辺」における海域にて藻場再生活動に着手しました。				

第 1 章		産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり					第 2 節(施策)		働きやすく、骨太なおおつちの商工業の推進						
施策の展望		地域経済の好循環を一層拡大し、産業の生産性向上や販路拡大、町民の所得向上を目指します。 また、新事業育成や企業の促進、担い手確保により雇用のばの確保を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	商工業の経営基盤強化						1	一人当たりの市町民所得の県内順位	位	13 (15)	↘	11	↘	9	↘
2	働き手の確保に向けた雇用対策の推進						2	釜石・大槌地域への新卒者就職率	%	60 (55.2)	↗	60.5	↗	52.8	↘
3	人材育成と事業承継支援（略）						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
4	企業誘致の促進と生産拠点の強化						4	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
5	産官学連携による新事業育成の支援						5	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	10 事業	1 事業	4 事業	3 事業	2 事業	0 事業	事業数	11 事業	0 事業	4 事業	4 事業	3 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	産業振興課	おおちゃん融資制度事業			B		町内中小企業者の経営の安定化を図るため、指定金融機関から受けた融資に対し、町が <b>利子の一部又は全額、信用保証料の全額を補助</b> します。 [指定金融機関] ア 株式会社岩手銀行大槌支店 イ 株式会社北日本銀行大槌支店 ウ 株式会社東北銀行釜石支店 エ 宮古信用金庫大渡支店				交付実績：115件（総額10,299千円）				
2	産業振興課	起業人材育成支援補助事業			B		町内の経済基盤の維持向上及び就業機会の確保を図り、まちのにぎわいを創出するため、大槌町内において新たに起業、出店及び事業を承継する方に対し、補助を行います。 補助上限額 1,000千円／件				交付実績：2件（総額1,065千円）				

第 1 章		産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり					第 3節(施策)		おおつちらしい観光物産戦略の展開						
施策の展望		海水浴を始めとした様々なアクティビティが楽しめる美しい海、先人から受け継がれてきた誇りある伝統文化、また、四季折々に色づく景観や「海の幸」「山の幸」が四季を通して数多く収穫される食など、大槌ならではの魅力を活かし、多くの方がまた訪れたくなる町を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	海を活用したコンテンツの活用（略）						1	観光客入込数	人	130,000 (103,308)	↗	84,425	↘	84,857	↘
2	食のブランディング（略）						2	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
3	伝統芸能・文化による誘客推進（略）						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
4	景観を活用した周遊と魅力発信（略）						4	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
5	受入態勢整備とファン拡大（略）						5	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	16 事業	2 事業	4 事業	8 事業	1 事業	1 事業	事業数	14 事業	0 事業	8 事業	4 事業	2 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	産業振興課	大槌サーモンまつりPR事業			A		「岩手大槌サーモン」を新たな特産品として定着させるため、これまで冬季に開催していた「おおつち鮭まつり」を、夏季の「岩手大槌サーモンまつり」にリニューアルして開催するものです。				来場者数：3,000人 過去に開催していた鮭まつりの平均来場者数5,000人を下回りましたが、令和3年度内に実施された催事の中では、最大の来場者数となりました。				
2	産業振興課	大槌ジビエソーシャルプロジェクト			S		ジビエ料理やジビエツアー等、ジビエ関連事業を多角展開し、町内のジビエ取扱い店舗と連携した観光客誘致及び交流人口拡大を図ります。				ジビエ事業に係る交流・関係人口 実績：10,638名（目標：4,730名）				
3	産業振興課	おおつちプロモーション事業			A		町の魅力を国内外に発信し、コンテンツビジネスが町内商業者の新たな収益方法となるよう、プロモーションを実施します。ポストコロナ禍により激変した時代状況を見据え、エンターテインメントコンテンツを活用し、国内外のアニメファンや若者層に向けた魅力的発信ツールを制作します。				全国の先進事例を調査するとともに、町内での連携企画や町オリジナルアニメーションのアイデアをブレインストーミングする町内商業者との調査会を実施しました。民放全国放送アニメで当町スポット紹介、大槌駅にて当町ゆかりの映画に係る特別列車出発式の挙行、町内商業店舗で東北初の事例となる商業映画との連動企画等を実施しました。				
4	産業振興課	海水浴場関連施設整備事業			A		海水浴客の集客と利便性を図り、来訪する海水浴客が安心して海水浴ができるよう、浪板海岸海水浴場と吉里吉里海岸海水浴場にトイレやシャワーなどの必要な施設を整備するもの。				浪板海岸：更衣室・シャワー・トイレを整備しました。 吉里吉里海岸：更衣室・シャワー・トイレの設計が完了しました。				

第9次大槌町総合計画前期基本計画【令和3年度主な施策の推進状況】						【目指すまちの将来像】		魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌				【第2章】		
第2章		健康でぬくもりのあるまちづくり				第1節(施策)		地域福祉の推進						
施策の展望		町民誰もが、身近な地域社会で、年齢や性別、心身の障がいの有無等に関わらず、お互いの個性や尊厳を認め合い、必要な福祉サービス等を利用しながら、住民相互の支え合いや見守りなどにより、安心して生きがいを持って生活できる福祉コミュニティを目指します。また、生活上の課題を抱える方が、地域において自立した生活を送ることができるよう、住民やボランティア団体、関係機関、行政が、世代や分野を超えてつながり、地域の様々な資源を活かしながら、切れ目のない支援を包括的に実施する体制の構築を目指します。												
主な取り組み						目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
						項目		単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度	
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	福祉サービスの充実				1	自治会・町内会等の組織数		団体	28 (21)	↗	28	↗	27	↗
2	地域福祉を支える体制づくり				2	民生委員・児童委員充足率		%	100 (73)	↗	83	↗	80	↗
3	***				3	ボランティア登録者数		人	80 (36)	↗	43	↗	46	↗
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。														
前年度							令和3年度							
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	
事業数	1 事業	0 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	事業数	1 事業	0 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	
主要な事務事業														
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価	事業概要				令和3年度 実績				
1	健康福祉課	協働による包括的支援体制の充実			A	町と、地域の住民や、民生委員・児童委員、社会福祉協議会をはじめとする関係機関が、それぞれの役割分担のもとで把握した地域課題を共有し、分野を超えて包括的に支援するための対応方法について協議する場を設置します。				民生委員・児童委員充足率 実績値：80％（基準値：73％）				

第 2 章		健康でぬくもりのあるまちづくり					第 2 節(施策)		子育て環境の充実						
施策の展望		子どもの幸せを第一に考え、子育てに関わる全ての人が安心して子育てができるよう、子どもの育ちや子育てを支援する取組の充実を図り、豊かな自然環境や、地域のつながりの中で、次代の親となる子どもたちが「ふるさと大槌で子育てをしたい」と思えるような子育て環境を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	子育て環境の充実						1	児童数（11歳以下）	人	938 (938)	→	881	↘	855	↘
2	安心して出産・子育てができるための支援の充実						2	待機児童数（4月現在）	人	0 (2)	↘	0	↘	0	↘
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下		
事業数	25 事業	1 事業	18 事業	4 事業	2 事業	0 事業	事業数	11 事業	2 事業	7 事業	1 事業	1 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価	事業概要				令和3年度 実績					
1	健康福祉課	子育て世帯包括支援センター			A	地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供し、妊産婦の孤立、虐待防止を行います。子育てに関する総合相談窓口として、様々な相談に応じ、必要なサービスの提供を行います。				令和3年度妊婦訪問等の対応 39件/39件（100％） （内訳）訪問：29件、面談3件、電話7件					
2	健康福祉課	保育士等確保支援事業			A	保育士等の確保を支援し保育環境の充実を図るため、民間保育所等が保育士等の確保に資する事業等を行う場合に要する経費に対し補助します。保育士等給与加算（採用後3年間の給与を、4年目と同額まで引き上げるための給与加算）				交付実績：4施設 園児数に対して必要な保育士数を確保できており、待機児童数も0です。					



第 2 章	健康でぬくもりのあるまちづくり						第 3 節(施策)	健康づくりの推進							
施策の展望	全ての町民が、生涯を通じて心身ともに健康で質の高い生活を送ることができるよう、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」の延伸を目指します。また、生活習慣病を予防するため、町民一人ひとりが自らの健康を自覚し、健康的な生活習慣を確立するとともに、地域全体で町民の健康づくりを支援できる体制を構築します。														
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	健康寿命の延伸						1	標準化死亡比（総死亡）	－	105.7 (113.9)	↘	137	↗	128.1	↗
2	こころの健康づくりの推進						2	要介護 2 以上の認定率（5年平均）	%	11 (11)	→	11	→	11	→
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	16 事業	0 事業	7 事業	6 事業	3 事業	0 事業	事業数	16 事業	1 事業	5 事業	6 事業	2 事業	2 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要			令和 3 年度 実績					
1	健康福祉課	健康診査事業			A		町が実施する特定健康診査（40 歳以上の国保加入者対象）に併せて 40 歳以上の生活保護受給者を対象に、健診自己負担金を無料で行います。特定健康診査基本項目に加えて腎機能検査、貧血検査を併せて実施します。			（受診者数） 健康診査：10人、肝炎ウイルス：43、骨粗鬆症：457人					
2	健康福祉課	健康相談事業			B		生活習慣病予防を重点課題として、40歳以上の町民に対し、保健師・管理栄養士による健康講話や調理実習を含めた栄養指導等を行い、家庭における健康管理を図ります。			健康相談12回、相談者数19名 健康課題の解決に向けた促しを行いました。					
3	健康福祉課	健康教育事業			B		生活習慣病の予防及び健康の保持増進を図るため、40歳以上の町民に対し、医師や保健師、管理栄養士等による講話、運動指導や調理実習を通して具体的な実践方法の普及を図ります。			生活習慣病及び重症化予防のため、特定保健指導対象者に対し、ストレッチや体幹トレーニングを盛り込んだ健康教育を実施しました。					

第 2 章		健康でぬくもりのあるまちづくり					第 4節(施策)		高齢者支援の推進						
施策の展望		高齢者の心身の健康保持と生活の安定が確保され、その家族も含めて、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けていくことができる環境を目指します。 また、多様な主体間の情報共有及び連携・協働によって、地域の住民による支え合い体制を構築します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	健康増進・介護予防・社会参加活動の推進						1	大槌町高齢者等見守りネットワーク協定締結事業者数	事業者	60 (50)	↗	55	↗	56	↗
2	地域で安心して暮らし続けるための環境の充実						2	認知症サポーターの育成数	人	2,800 (1,877)	↗	2,416	↗	2,464	↗
3	認知症施策の総合的な推進						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
4	地域で支えあう仕組みづくり						4	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	28 事業	9 事業	7 事業	10 事業	2 事業	0 事業	事業数	29 事業	6 事業	14 事業	8 事業	1 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価	事業概要					令和 3 年度 実績				
1	健康福祉課	地域リハビリテーション活動支援事業			A	リハビリテーションに関する専門的知見を有する釜石リハビリテーション協会より、各種介護予防教室等で技術的助言をいただき、また運動機能向上に向けた運動プログラムの作成を委託することで、介護予防の正しい運動について普及啓発しています。					専門講師を招き、自宅で1人でもできる運動の指導について、町民を対象に行いました。				
2	健康福祉課	成年後見センター委託事業			A	高齢化率の上昇が見込まれており、高齢者独居、成年後見の利用が必要になる方が増加することが予想され、制度に係る相談支援体制の強化の為、制度に特化した体制を整備する必要があること、また、成年後見人等を担う人材が不足していることから、市民（町民）後見人等の担い手を育成の必要性が高まっていることから、専門性に特化した機関として成年後見センターを釜石市・遠野市・大槌町の合同で設立し、釜石社協に業務を委託します。					センター利用者数：14人 後見人育成の養成講座を実施しました。				
3	健康福祉課	老人保護措置費			S	65歳以上の高齢者で、在宅において日常生活を営むのに支障があるが、やむを得ない事由（要介護認定を受けられないことが見込まれる場合、高齢者虐待が疑われる場合等）により、介護保険による介護福祉施設サービスを利用することが著しく困難であると認められる場合、最終的な手段として養護老人ホームに入所を委託し、高齢者の福祉を図ります。					入所者数：10人				
4	健康福祉課	認知症サポーター養成事業			A	地域の人々が認知症について理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る地域の応援者となれるよう、国・県が主催する「キャラバンメイト養成研修」を受講した講師が、養成講座基本カリキュラムの沿って研修を行い、町民参加による安心して暮らせるまちづくりの取組みに繋がられるようにすること、及び認知症の人が尊厳を持って地域で暮らし続けられるように支援するサポーターを要請します。また養成講座修了者にはサポーターの証となるオレンジリングを交付します。					認知症相談件数が増加傾向にある中、認知症を理解し、見守る応援者を養成する講座を開催しました。 新規受講者数：68人				
5	健康福祉課	介護施設等整備事業			A	小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービス提供施設を整備する者に対し、その費用の一部を補助することにより、高齢者のニーズに応じた介護サービス提供基盤の確保及び充実に努めます。					事業所数：5（目標数：6）				



第 2 章	健康でぬくもりのあるまちづくり						第 5 節(施策)	障がい福祉の推進							
施策の展望	障がい者(児)が、住み慣れた地域で安心して生活し、主体的に社会参加しながら豊かで自立した暮らしを実現できる環境を目指します。 また、地域移行後も安心して生活できるよう、住民相互の理解と支え合いを促進し、障がいの有無に関わらず全ての町民にとって暮らしやすい地域社会の実現を目指します。※「障がい者(児)」は18歳以上の障がい者と18歳未満の障がい児の双方を対象としております。														
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	障がい者（児）の生活支援の充実						1	施設入所者数	人	46 (48)	↘	46	↘	52	↗
2	障がい者（児）の就労支援の充実						2	施設利用者の一般就労移行者数	人/年	6 (4)	↗	1	↘	1	↘
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	16 事業	4 事業	8 事業	3 事業	0 事業	1 事業	事業数	2 事業	0 事業	1 事業	1 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	健康福祉課	大槌町福祉タクシー助成事業			B		公共バスを利用することが難しい重度障がい者（児）を対象として、利便性の高い移動手段であるタクシーの運賃の一部を助成 します。				交付者数14人（チケット137枚利用）				
2	健康福祉課	釜石・大槌地域障がい福祉コーディネーター配置事業			A		障がい者（児）が、住み慣れた地域で安心して生活し、主体的に社会参加しながら豊かで自分らしい暮らしを実現できる環境を構築し、もって障がい者（児）の生活支援の充実を図ります。				釜石・大槌圏域内での横断的なネットワークの構築や連携強化が図るためのコーディネーター1名を配置しました。				

第 2 章		健康でぬくもりのあるまちづくり					第 6 節(施策)		医療の充実							
施策の展望		町民が安心して医療サービスを受けられるよう、地域医療体制の充実、休日及び夜間の救急医療体制の維持を目指します。 また、国民健康保険事業の安定化を図るため、被保険者および町民に対し、制度の理解啓発を促し適正な運用に努めます。														
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）									
							項目		単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
										数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	地域医療の充実						1	休日・夜間救急診療体制対応日数		日	365 (365)	→	365	→	365	→
2	医療保険制度等の充実						2	国民健康保険加入者一人当たり医療費		円/年	363,302 (433,501)	↘	436,231	↗	446,749	↗
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。																
前年度							令和3年度									
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下			
事業数	5 事業	0 事業	4 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	5 事業	0 事業	4 事業	1 事業	0 事業	0 事業			
主要な事務事業																
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価	事業概要					令和 3 年度 実績					
1	健康福祉課	第2次救急医療施設事業負担金			A	圏域住民が安心して医療サービスを受けることができるよう、圏域の医療機関と連携を強化しながら、地域医療体制の充実に取り組みます。					休日・夜間救急診療対応日数 365日					
2	健康福祉課	在宅当番・救急医療情報提供実施事業負担金			A	圏域住民が安心して医療サービスを受けることができるよう、圏域の医療機関等と連携を強化しながら、地域医療体制の充実に取り組みます。										

第9次大槌町総合計画前期基本計画【令和3年度主な施策の推進状況】						【目指すまちの将来像】		魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌						【第3章】	
第3章		学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり				第1節(施策)		生涯を通してつながる学びの推進							
施策の展望		幼保小中高の一貫した教育により、大槌の子どもたちの「豊かな育ち」と「確かな学び」を保障し、「チーム大槌」として学校・家庭・地域で創る教育の実現を目指します。 また、地域自ら主体となって行う、公民館及び集会施設活動等の推進による世代を超えたつながりある地域づくりの実践を目指します。													
主な取り組み						目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）									
						項目		単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	幼保小中高と地域の一貫した教育の推進					1	自己肯定感を持った児童生徒の割合	%	77 (69)	↗	74	↗	75	↗	
2	地域主体の公民館及び集会所等における活動等の推進による地域づくり					2	公民館（分館）活動等事業参加者数	人	5,000 (3,704)	↗	552	↘	892	↘	
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下		
事業数	5 事業	0 事業	4 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	4 事業	1 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価		事業概要			令和3年度 実績					
1	生涯学習課	成人式事業			A		町内出身者の新成人を祝うための成人式を実施します。通常の式典、及び実行委員会主催が主催するアトラクション（スライドショー・恩師の言葉・吹奏楽部による演奏・写真撮影など）の2部構成で開催します。			出席者数：90人 配信視聴数：344回 コロナウィルス対策として、家族の入場制限、出席者の検温等を行うとともに会場に来られない方向けに、成人式の様子をYouTubeで配信しました。					
2	生涯学習課	公民館事業			A		主な公民館事業としては、地区総会・報告会等、公民館大会事業、出前講座事業、地区運動会、海岸清掃、新年会、定期環境整備活動（海岸清掃、草刈り等）、お茶っこの会、各種講演・講習会・企画展等事業、郷土芸能伝承活動、防災訓練等を実施します。			地域一斉清掃、子供との交流事業(遊び場提供)、お茶っこの会、花いっぱい運動、合同夜間パトロール、男の料理教室、しめ縄作り等					

第 3 章		学びがふるさとを育てふるさが学びを育てるまちづくり					第 2 節(施策)		地域へと広がる魅力的な学びの場づくり						
施策の展望		環境の変化に対応し、大槌の未来を担う人材を育むため、魅力ある高校教育の実現を目指します。 また、児童生徒が生き生きと充実した学校生活を送り、主体性のある豊かな学びを行うために、学校、家庭、地域、行政、子どもが一体となった学校運営や放課後に安心して過ごせる場所の確保を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況										
1	地域を舞台とした魅力的な高校教育実現に向けた協働						1	大槌高校の学級数	学級/学年	2 (2)	→	2	→	2	→
2	学校・家庭・地域・行政・子どもが一体となった学校運営の実践						2	学校ボランティアの受入数	人	170 (158)	↗	65	↘	68	↘
3	* * *						3	放課後学習施設登録児童数の割合	%	25 (22)	↗	13.3	↘	16	↘
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	5 事業	0 事業	4 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	7 事業	0 事業	4 事業	3 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要			令和 3 年度 実績					
1	学務課	大槌高校魅力化推進事業			A		町内唯一の公立高校を魅力化することで、「次代の復興を担う人材の育成」と「高校生の交流・共創を通じた地域人材の育成」をめざし、高校の存続と持続可能な地域づくりを行います。			○高校魅力化構想会議実施回数：3回 ○大槌高校探究の授業支援 ・1学年70時間 ・2学年70時間 ・3学年35時間 ○地域みらい留学フェスタへの参加、個別問い合わせ件数：21組 ○オープンスクール参加者：9組 ○来年度留学生：6名 ○広報大槌への記事掲載					
2	学務課	コミュニティスクール推進事業			B		町内の小中義務教育学校が高等学校及び幼稚園・保育園・認定こども園と繋がり、またそれぞれが地域と繋がりながら、0～18歳までの一貫した教育を推進します。			○学校運営協議会の実施（2学園、各3回） ○コミュニティ・スクール委員会の実施（年2回） ○学校支援地域コーディネーターの配置 ○「ふるさと科」ボランティアの依頼 ○交通安全保安員の配置（5名）					
3	学務課	放課後等学習支援活動事業			B		中高生が自習できる居場所づくりを進めると共に、小学生が主体的に進んで学習する習慣がつくよう、放課後団体間の連携を深めます。小中高校生が音楽プログラムを通して自信や尊厳を回復し、人生を切り開いていける「生きる力」を育みます。日々の子どもたちの様子を観察し、気づいたことを学校等と共有し、子どもに寄り沿った心のケアを行います。			コラボ・スクール通学生徒数2,954人 （R2：3,370人） バイオリン楽教室参加人数：1,259人 （R2：1,247人）					

第 3 章		学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり					第 3 節(施策)		町民の学習活動の推進						
施策の展望		国際交流や町の伝統文化、芸能、文化財を理解し、スポーツや読書活動等に誰もが取組める環境を目指します。 また、将来の大槌町を担う、グローバルとローカルの両方の視点を備えたグローバルな人材の育成を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	国際交流の促進						1	芸術文化・文化財事業参加者数（町民文化祭・郷土芸能祭等）	人/年	2,000 (1,411)	↗	0	↘	200	↘
2	芸術文化・スポーツ・読書活動等の推進と環境整備の充実						2	体育施設利用件数	件/年	4,000 (3,294)	↗	2,414	↘	3,080	↘
3	郷土の文化に触れる機会の充実（略）						3	図書館来館者数	人/年	15,875 (3,533)	↗	20,362	↗	24,442	↗
4	＊ ＊ ＊						4	図書貸出冊数	冊/年	19,373 (8,734)	↗	28,864	↗	28,019	↗
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	14 事業	0 事業	4 事業	9 事業	0 事業	1 事業	事業数	12 事業	0 事業	6 事業	5 事業	1 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	生涯学習課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会運営事業			A		新型コロナウイルスの影響により延期となっていた、東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントとして「聖火リレー」及び「聖火フェスティバル」を開催するものです。				○オリンピック「聖火リレー」 令和3年6月17日（木）開催 ○パラリンピック「聖火フェスティバル」 令和3年8月12日（木）開催				
2	生涯学習課	大槌町郷土芸能活性化補助事業			A		大槌町の貴重な民俗芸能を次世代に継承するとともに、町民が郷土芸能の多様な価値を再認識することで、地域コミュニティの活性化やまちづくりに資することを目的に、大槌町郷土芸能保存団体連合会への補助を行うものです。				大槌町郷土芸能祭来場者数：200人				
3	図書館	図書館事業			A		図書館の機能の充実と読書活動の推進を図ります。				来館者数24,442人（前年度：20,362人）				



第 3 章		学びがふるさとを育てふるさとが学びを育てるまちづくり					第 4 節(施策)		学ぶ環境の整備						
施策の展望		通学及び学校生活において安全・安心に学ぶことのできる環境、生まれ育つ環境に左右されずに学ぶことのできる機会の保障を目指します。 また、これからの大槌教育を担い、大槌の児童生徒の教育に関わる全ての人にとって働きがいがあり、学び育つことのできる環境の実現を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	安全・安心な教育環境の整備						1	学校における校舎内内外の安全点検の回数	回/年	12 (12)	→	12	→	12	→
2	教育関係者の意欲向上と人材育成に資する環境の整備						2	教員の職場環境に対する非ストレス度	%	85 (85)	↗	94	↗	92	↗
3	学ぶことができる機会の保証（略）						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	15 事業	1 事業	9 事業	5 事業	0 事業	0 事業	事業数	12 事業	3 事業	9 事業	0 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	学務課	大槌町GIGAスクール推進事業			S		「ICT教育」と「大槌型教育」をベストミックスさせることで、児童生徒の情報活用能力やコミュニケーション能力を高めていくと共に、「つながりのある学び」を拡げ、大槌町の子どもたちの「豊かな育ち」と「確かな学び」の保障・実現を図ります。				・大型液晶ディスプレイ12台購入 ・学習用ソフト・セキュリティソフト導入 ・ネットワーク保守管理の実施				
2	学務課	要・準要保護児童生徒就学援助事業			A		学齢児童・生徒の就学機会を確保するため、経済的理由により就学費用の負担が困難と認められる保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などの費用の一部を援助します。				準要保護児童認定者数：42人 被災児童認定者数：75名 準要保護生徒認定者数：37名 被災生徒認定者数：53名				
3	学務課	スクールバス維持管理事業			A		児童生徒の遠距離通学支援としてスクールバス運行を行います。 児童生徒のスクールバス利用状況により、運行経路等の調整及び車両維持管理を行いながら運行します。				計10路線（金沢線、和野線、小槌線、三枚堂線、桜木町線、臼沢線、生井沢線、赤浜線、惣川線、安渡線）				

第 3 章		学びがふるさとを育てふるさが学びを育てるまちづくり					第 5 節(施策)		震災伝承による防災文化の醸成						
施策の展望		東日本大震災津波の記録を残し、教訓を学び、将来の町民に「防災文化」として伝承し、定着することを目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	防災学習の推進						1	震災伝承展示物の更新	回/年	2 (1)	↗	1	→	2	↗
2	震災伝承に関する啓発活動の推進						2	***	***	***	***	***	***	***	***
3	「追悼・鎮魂」の想いの継承						3	***	***	***	***	***	***	***	***
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	3 事業	0 事業	1 事業	1 事業	1 事業	0 事業	事業数	3 事業	0 事業	1 事業	1 事業	1 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	協働地域づくり 推進課	大槌町震災伝承プラットフォーム構築事業			B		行政と町民の協働による震災伝承の取り組みの促進と、震災伝承が町の文化となることを目的として、基盤となる「大槌町震災伝承プラットフォーム」を構築し、震災伝承に向けた各取り組みを推進します。				官民協働による震災伝承の取り組みを推進する「大槌町震災伝承プラットフォーム」を構築し、各取り組みの推進を図った。 ①（仮称）震災語り部の育成及び教育・研修コンテンツ開発WG 7 回開催 ②震災伝承の場のあり方検討WG 7 回開催 ③プラットフォーム運営会議 3 回開催				
2	協働地域づくり 推進課	(仮称)鎮魂の森整備事業			A		「鎮魂の森」を東日本大震災津波の町全体の「追悼・鎮魂」の場とするとともに、町民が日常的に集い、憩い、交流の場として永く親しまれながら、森を育てていくことを通じて、「被害と教訓」、「復興への想い・感謝」と「希望」を将来世代にメッセージとして伝え続けていくことができるような場として整備します。				(仮称)鎮魂の森の整備に向け、用地買収、基本設計、住民説明会を実施しました。				

第9次大槌町総合計画前期基本計画【令和3年度主な施策の推進状況】						【目指すまちの将来像】		魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌						【第4章】	
第4章		安全性と快適性を高めるまちづくり					第1節(施策)		災害に強いまちづくりの推進						
施策の展望		東日本大震災津波の体験や教訓を基に、地域における防災力を向上し、災害や火災等に強い安心安全なまちを目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	防災、減債対策の充実						1	地区防災計画作成組織数	組織	6 (3)	↗	3 (±0)	→	3 (±0)	→
2	自主防災組織の活性化による地域防災力の向上						2	防災に関する研修実施数	回/年	20 (14)	↗	5	↘	9	↘
3	防災訓練の効果的な実施						3	防災訓練実施数	回/年	20 (11)	↗	2	↘	10	↘
4	消防防災体制の強化						4	消防団員数	人	168 (168)	↗	157	↘	147	↘
5	* * *						5	訓練・講習会実施数	回/年	45 (40)	↗	1	↘	7	↘
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下		
事業数	6 事業	0 事業	3 事業	1 事業	2 事業	0 事業	事業数	9 事業	0 事業	5 事業	2 事業	2 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価	事業概要				令和3年度 実績					
1	防災対策課	防災・減災対策事業			A	大槌町の地域並びに町民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）に基づき、防災、減災対策に取り組み、さらには東日本大震災津波の体験や教訓を基に、地域防災力の向上に努め、災害に強い安全安心なまちづくりを行います。				防災行政無線中継局舎改修工事、子局蓄電池交換修繕のほか、防災行政無線のメンテナンス、避難路の維持管理等を行いました。					
2	地域整備課	河川維持管理事業			A	昨今の大雨被害への対策として河川断面・勾配等の流下能力の不足箇所の改修を実施し、治水安全度を向上させ、浸水等被害の軽減を図るものです。				○大ケ口川河川（320m区間）測量設計着手 ○生井沢河川（施工延長：351m）…改修工事完了 ○平時における河川の維持管理…パトロール、損傷箇所補修					
3	消防課	消防団施設整備事業			A	地域の防災力の強化を図るため、消防団の有事の際の拠点及び資機材等の保管施設として防災倉庫を建設するものです。				消防団施設強化の一環として、中央公民館安渡分館敷地内に倉庫兼待機所を建設しました。					

第 4 章		安全性と快適性を高めるまちづくり					第 2 節(施策)		良質な自然環境の保全と環境衛生の向上						
施策の展望		温室効果ガスの低減など地球環境への負荷低減を図り、健康で安全な生活と豊かな生態系が確保された循環型社会の構築を目指します。 また、需要に的確に対応した斎場の整備を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	地球温暖化対策の推進						1	1人1日あたりのごみの排出量	組織	690 (937)	↘	926	↘	924	↘
2	循環型社会形成の推進						2	***		***	***	***	***	***	***
3	斎場施設の整備と管理						3	***		***	***	***	***	***	***
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下		
事業数	4 事業	1 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業	事業数	5 事業	2 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価	事業概要				令和3年度 実績					
1	リサイクルセンター	3 R 推進事業			A	住民、事業者、行政が協働して、ごみ減量化と3 R の推進に取り組むとともにごみの適正処理に努めます。				町内の燃えるゴミ量（年間） 令和3年度：2,045 t/年 〔目標値：1,970 t/年〕					
2	町民課	斎場整備事業			S	既存の火葬場は、著しい老朽化により修繕費等の維持管理費が年々増加していることや、告別室や収骨室が狭いなど町民のニーズに十分に对应されていない状況にあることから、衛生的で人生最後のお別れの場としてふさわしい斎場を整備します。				新斎苑が完成し、令和3年11月から稼働（供用開始）しています。					
3	町民課	斎場整備事業管理運営事業			A	人生の終焉の場として、穏やかで厳粛な式を営めるよう、丁寧な接遇や確実な火葬を実施し、適切な斎場の管理運営を実施します。				火葬執行上の不具合発生件数：0件					

第 4 章		安全性と快適性を高めるまちづくり					第 3節(施策)		快適な住環境の実現						
施策の展望		人に優しく安全な住環境、犯罪・事故のない安心・安全なまち、都市部との情報格差のない快適な通信環境を目指します。 また、水道事業の経営改善と水の安定供給、水洗化率の向上を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	良質な住環境の形成						1	町内の交通事故件数	件	0 (20)	↘	5	↗	8	↘
2	防犯・安全の推進						2	大槌町インターネット施設加入率	%	45 (38)	↗	43	↗	44	↗
3	新技術に対応する情報基盤の整備（略）						3	水道管耐震化率	%	32 (26)	↗	39	↗	39	↗
4	安全で安心な水道水の安定供給						4	下水道水洗化率	%	82 (68)	↗	78	↗	72.9	↗
5	水洗化の促進と効率的な汚水処理						5	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	10 事業	1 事業	6 事業	3 事業	0 事業	0 事業	事業数	10 事業	1 事業	8 事業	1 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要			令和 3 年度 実績					
1	総務課	携帯電話等エリア整備事業			A		携帯電話利用できない地域を解消するため、町が基地局等の設備を整備するものです。整備した基地局を使用して無線通信事業者が携帯電話サービスを提供します。			携帯電話等のエリア外の世帯数 令和3年度 25世帯 （令和2年度 44世帯）					
2	総務課	光ファイバー加入促進事業			A		大槌町 I R U エリア(注)において光ファイバーインターネット回線を新規に引き込む際に生じる初期費用において、民間事業者が回線を敷設するエリアとの格差解消を図るため、初期費用の一部を町が負担します。（注）民間事業者が光ファイバーを敷設しておらず、町が光ファイバーを敷設し民間事業者に貸与することで光ファイバーインターネットサービスを提供している地域のことです。			令和3年度は26件の加入者があり、対象世帯の加入率は44％となりました。					
3	上下水道課	水道未普及地区対策事業（飲料水）			A		水道未普及地域（上水道給水区域外）の住民が安定的に自家水を得るために井戸掘り、地下水汲み上げポンプの設置や沢水を貯めるタンク設置など自家水等の整備にかかる費用に対し、補助金を交付し、飲料水の確保を図るものです。			補助金交付実績：3件（前年度実績：1件）					
4	上下水道課	浄化槽設置整備事業			A		公共下水道事業計画区域及び漁業集落排水処理事業計画区域を除いた町内全域、また、公共下水道による管渠施設整備が当分の間見込まれない公共下水道計画区域内（事業計画区域外）の住宅等を対象として、浄化槽設置の費用の一部を助成するものです。  浄化槽の設置を推進し、町民の生活環境水準の向上を図ることにより、河川及び海岸保全施設等、水環境の保全を図ります。			浄化槽設置基数：7件（前年度実績：5件）					



第 4 章		安全性と快適性を高めるまちづくり					第 4 節(施策)		利便性の高い交通ネットワークの整備						
施策の展望		安全かつ災害に強い道路の整備・維持管理に取り組むとともに、復興後のまちの形に合わせた利便性と機能性の高い交通ネットワークの確立を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方法は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	道路環境の適正な維持管理						1	道路舗装率	%	44 (43.2)	↗	53.3	↗	53	↗
2	道路交通網の充実						2	大槌駅乗車人数	人/日	238 235	↗	69.1	↘	62	↘
3	公共交通網の充実						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	6 事業	0 事業	3 事業	3 事業	0 事業	0 事業	事業数	6 事業	0 事業	3 事業	3 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要			令和 3 年度 実績					
1	地域整備課	社会資本整備総合交付金事業			A		運動施設や郷土財活用エリアを含む移転元地の利活用の促進を目的とし、移住エリアと当該エリアを結ぶ道路を整備するものです。			○町道明神通り線（延長：355m）…測量設計完了・工事着手 ○町道須賀町11号線（延長：140m）…測量設計着手 ○町道栄町須賀町線（延長：240m）…測量設計着手					
2	地域整備課	道路メンテナンス事業			A		快適で安全な道路環境の確保のため、町道の整備を行うものです。			○大槌町トンネル長寿命化修繕計画策定 ○道路橋梁の法定点検72橋（前年度実績61橋） ○補修工事：町道丹野長井線（長井橋）橋梁補修工事18.1m ○補修設計2橋梁（大槌橋、小松野橋）					
3	企画財政課	地域公共交通計画策定事業			A		復興後の新しいまちの形に合わせ、町民の安定的な生活の足を確保することを目的に策定した「大槌町公共交通網形成計画」が令和 3 年度で計画期間を終了することから、計画内容を見直し、新たな公共交通体系を構築する「大槌町地域公共交通計画」を策定するものです。			持続可能な町を実現するため、新たな計画を策定しました。					

第9次大槌町総合計画前期基本計画【令和3年度主な施策の推進状況】						【目指すまちの将来像】		魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌				【第5章】	
第5章		将来を見据えた持続可能なまちづくり				第1節(施策)		協働による地域・まちづくりの推進					
施策の展望		復興後の新しいまちづくりや少子高齢化・人口減少の進展に対応し、コミュニティの活性化やUターン者の受入等を通じて、人や地域の結びつきの中で、町民が支えあって暮らすことができる地域・まちを目指します。 また、男女が互いに尊重しながら、夢の実現に向けてチャレンジできるまちを目指します。											
主な取り組み						目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）							
						項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度	
数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況								
1	地域づくり団体の形成・活動支援				1	自治会・町内会等の組織数	団体	28 (21)	↗	28	↗	27	↗
2	U I ターンの促進				2	U I ターン総合相談窓口を活用した移住者数	人	30 (6)	↗	11	↗	19	↗
3	広報・広聴の推進				3	地方自治法に基づく審議会等の女性比率	%	24 (18)	↗	25	↗	25	↗
4	男女共同参画社旗の推進				4	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。													
前年度						令和3年度							
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下
事業数	8 事業	0 事業	6 事業	2 事業	0 事業	0 事業	事業数	10 事業	1 事業	5 事業	4 事業	0 事業	0 事業
主要な事務事業													
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価	事業概要				令和3年度 実績			
1	協働地域づくり推進課	コミュニティ形成支援事業			A	コミュニティ活動団体による被災者の心の復興に向けた活動や、地域住民によるコミュニティ活動に要する費用を助成するものです。				コミュニティ活動推進助成金及び心の復興事業補助金の交付により、コミュニティ形成と一体となった被災者の心身のケアを図りました。			
2	協働地域づくり推進課	協働地域づくり推進事業			B	高齢化、人口減少による地域運営の課題を「住民・団体・行政」が共有し、一体となって地域の維持・活性化に取り組む「協働による地域・まちづくり」を推進します。				コミュニティ協議会では自治会町内会関係者等56名が参加し、意見交換と連携創出を図りました。元気なふるさと応援センター事業ではふるさと支援員を4名配置し、自治会町内会等が行う地域活動を支援しました。			
3	産業振興課	おおつち移住・定住推進事業			B	町への移住・定住促進を図るため、暮らしの場・しごとの場としての魅力向上を図るほか、交流人口・関係人口の拡大に向けた情報発信やUターン者の受け入れ環境の充実を推進するものです。				Uターン総合相談窓口を利用した転入者数：19人			
4	産業振興課	地域おこし協力隊協働事業			S	地域おこし協力隊を活用し、大槌町への移住・定住を図りながら、町内の事業者とともに地域の課題解決に取り組み、新しいパワーや専門的な知識・経験を持つ人材と協働し、さらなる町の魅力向上と基盤強化を推進するものです。				地域おこし協力隊を10人誘致しました。 (1)4月着任8人 (2)10月着任1人 (3)11月着任1人			

第 5 章		将来を見据えた持続可能なまちづくり					第 2 節(施策)		健全な財政運営の推進						
施策の展望		事務事業の効率化や税金の収納率維持、財産の適正管理を実現し、財政の健全化に努めます。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	行財政運営の効率化						1	財政健全化判断比率の実質公債費率	%	15 (9.9)	↘	12.2	↗	12.7	↗
2	公有財産の適正な管理						2	地方税の収納率	%	97.8 (97.8)	↗	96.4	↘	98.4	↗
3	自主財源の確保						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	4 事業	1 事業	2 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	4 事業	1 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	企画財政課	ふるさと納税特産品贈呈事業			A		ふるさと納税を通じて、寄附者に御礼の品を送付することで、当町特産品のPRに繋げるとともに、地域の活力を盛り上げるために実施します。				寄附受入実績 平成27年度 1,134件 68,612千円 平成28年度 4,617件 100,882千円 平成29年度 5,633件 122,176千円 平成30年度 7,182件 141,613千円 令和元年度 8,059件 153,634千円 令和2年度 9,941件 200,220千円 令和3年度 13,156件 292,316千円				

第 5 章		将来を見据えた持続可能なまちづくり					第 3 節(施策)		成果を重視した行政運営の構築						
施策の展望		行政組織の目標を実現するために、周囲と協調しながら自ら考え行動する職員を育成します。 また、情報システムの効率的な活用と業務改善を推進し、効率的かつ効果的な行政運営、住民サービスの質の向上を目指します。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）								
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度		
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況	
1	成果を重視した行政運営の促進						1	職員研修の実施回数	団体	7 (3)	↗	0	↘	5	↘
2	人材育成の推進						2	***	***	***	***	***	***	***	***
3	I C T の活用による業務の効率化						3	***	***	***	***	***	***	***	***
4	広域行政の推進						4	***	***	***	***	***	***	***	***
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。															
前年度							令和3年度								
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下		
事業数	2 事業	0 事業	1 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	4 事業	0 事業	2 事業	1 事業	0 事業	1 事業		
主要な事務事業															
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績				
1	総務課	職員能力開発研修事業 【釜石・大槌定住自立圏連携事業】			B		研修を通じ職員の資質向上を図り、効率的な行政運営を行うことの出来る人材を育成するため、各階層毎に必要とされる能力の強化を目的とした職員研修を実施します。				オンラインでの実施体制を構築し、下半期からe-ラーニングによる研修を実施しました。				
2	総務課	庁内情報基盤整備事業			A		住民サービスに不可欠な庁内の情報システムを適正に維持し運用する。法制度の変更にともなうシステム改修やサイバーセキュリティ対策のため必要な対策を行う。また、システム更新時期にあわせて新たな情報技術を検討し事務効率の向上を図ります。				戸籍システムの更新を実施しました。				

第9次大槌町総合計画前期基本計画【令和3年度主な施策の推進状況】							【目指すまちの将来像】		魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌						【第6章】	
第6章		未来につなげる着実な復興まちづくり					第1節(施策)		事業者の本設再建と産業の再生							
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）									
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度			
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況		
1	被災事業者の本設再建に向けた支援					1	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
2	復興に向けた雇用対策の充実					2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。																
前年度							令和3年度									
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点8～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点5～7点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点4点以下			
事業数	1事業	0事業	1事業	0事業	0事業	0事業	事業数	4事業	0事業	0事業	2事業	2事業	0事業			
主要な事務事業																
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価		事業概要				令和3年度実績					
1	産業振興課	【再掲】 おおちゃん融資制度事業			B		町内中小企業者の経営の安定化を図るため、指定金融機関から受けた融資に対し、町が <b>利子の一部又は全額、信用保証料の全額を補助</b> します。 [指定金融機関] ア 株式会社岩手銀行大槌支店 イ 株式会社北日本銀行大槌支店 ウ 株式会社東北銀行釜石支店 エ 宮古信用金庫大渡支店				交付実績：115件（総額10,299千円）					
2	産業振興課	【再掲】 起業人材育成支援補助事業			B		町内の経済基盤の維持向上及び就業機会の確保を図り、まちのにぎわいを創出するため、大槌町内において新たに起業、出店及び事業を承継する方に対し、補助を行います。 補助上限額 1,000千円／件				交付実績：2件（総額1,065千円）					



第 6 章		未来につなげる着実な復興まちづくり					第 2 節(施策)		支え合い誰もが暮らし続けられる地域社会づくり					
施策の展望		被災者の生活再建支援や地域コミュニティの再生を図りながら、住民が互いに支え合い、生きがいと希望を持って、生き生きと暮らせる地域社会を目指して取組を進めていきます。												
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）							
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度	
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	仮設住宅から復興市街地への移行支援						1	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
2	被災者の生活再建支援						2	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
3	復興市街地におけるコミュニティの再生						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。														
前年度							令和3年度							
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	
事業数	8 事業	1 事業	6 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	5 事業	1 事業	3 事業	0 事業	1 事業	0 事業	
主要な事務事業														
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要			令和 3 年度 実績				
1	健康福祉課	岩手県被災者住宅再建支援事業			S		東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため被災者が町内に新築、購入に要する経費に対し交付します。 複数世帯100万、単身世帯75万			交付実績額9,500千円（10件）				
2	健康福祉課	岩手県生活再建住宅支援事業			A		被災者が住宅を新築する際にバリアフリー対応や県産材を使用した場合にかかる経費に対して補助し、被災者の住宅再建を支援しようとするものです。			交付実績額4,474千円（10件）				
3	健康福祉課	東北地方太平洋沖地震災害弔慰金支給事業			A		東日本大震災により死亡、行方不明となった方の遺族に対し弔慰金を支給します。 生計維持者500万、その他250万			交付実績額0千円				
4	健康福祉課	災害障害見舞金支給事業			C		災害による負傷、疾病で精神または身体に著しい障害が生じた場合の見舞金を支給します。 生計維持者（250万円） その他（125万円）			交付実績額0円				
5	健康福祉課	被災住宅債務利子補給事業			A		被災した住宅の新築、増改築または改修、既往住宅の債務の利子を補給し、被災者の住宅再建を支援しようとするものです。			交付実績額174千円（4件）				

第 6 章		未来につなげる着実な復興まちづくり					第 3節(施策)		未来の大槌人の育成／文化の再生と知の継承					
施策の展望		震災で失われた社会教育環境の再生、こころとからだを支える活動環境づくりによる「将来を担う大槌人の育成」と、津波災害の記憶や教訓を活かした「文化の再生と知の継承」を目指して取組を進めていきます。												
主な取り組み							目標指標（各年度の方角は、基準値と比較したもの）							
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度	
									数値	目標方角	数値	達成状況	数値	達成状況
1	被災した地域施設の再生と多目的な活用						1	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
2	防災文化を継承し自然・文化を再生する町民活動の展開（略）						2	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
3	子どもたちが安心して学べる環境づくり						3	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。														
前年度							令和3年度							
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	
事業数	3 事業	0 事業	2 事業	1 事業	0 事業	0 事業	事業数	5 事業	0 事業	4 事業	1 事業	0 事業	0 事業	
主要な事務事業														
No.	所属名	事業名称			令和3年度評価		事業概要			令和 3 年度 実績				
1	生涯学習課	運動施設オープニングイベント運営事業			A		新たに整備された野球場及びサッカー場のオープニングイベントを行います。			【運動施設全体落成式】 令和 3 年 5 月 2 日（日）開催 【サッカー場オープニングセレモニー】 令和 3 年 5 月 4 日（火・祝）開催 【野球場オープニングセレモニー】 令和 3 年 5 月22日（土）開催				
2	生涯学習課	運動施設管理運営事業			A		新たに整備された野球場及びサッカー場の施設管理を行います。			（利用人数実績） 野球場2,318人、テニスコート324人、サッカー場11,077人				
3	総務課	忘れない 3.11 事業			B		東日本大震災津波により亡くなった方々を追悼するため、議員や各町内の委員会等の長、一般町民の方々へご案内し、式を開催しているものです。			追悼式、一般献花参列者：454人				
4	生涯学習課	郷土財活用エリアオープニングイベント運営事業			A		新たに整備された郷土材活用湧水エリアのオープニングイベントを行います。			【郷土財活用湧水エリア落成式】 令和 3 年 6 月 5 日（土）開催				
5	協働地域づくり推進課	【再掲】 (仮称)鎮魂の森整備事業			A		「鎮魂の森」を東日本大震災津波の町全体の「追悼・鎮魂」の場とするとともに、町民が日常的に集い、憩い、交流の場として永く親しまれながら、森を育んでいくことを通じて、「被害と教訓」、「復興への想い・感謝」と「希望」を将来世代にメッセージとして伝え続けていくことができるような場として整備します。			(仮称)鎮魂の森の整備に向け、用地買収、基本設計、住民説明会を実施しました。				

第 6 章	未来につなげる着実な復興まちづくり						第 4 節(施策)	魅力ある持続可能なまちづくり／地域資源としての風景の再生						
施策の展望	誰もが暮らしやすい復興市街地の環境を備え、産業再生の基礎となる地域資源の再生を目指して取組を進めていきます。													
主な取り組み							目標指標（各年度の方向は、基準値と比較したもの）							
							項目	単位	目標値（）…基準値		令和2年度		令和3年度	
									数値	目標方向	数値	達成状況	数値	達成状況
1	減災・情報伝達・避難・救援活動に配慮した復興市街地づくり						1	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
2	災害への耐性、環境への配慮、長期的維持管理の視点を導入した社会基盤・公共施設に整備						2	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊	＊ ＊ ＊
評価の状況※①必要性(5点)②有効性(5点)③効率性(5点)の15点満点を目安に、施策への貢献度を5段階で評価した。														
前年度							令和3年度							
評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	評価区分	事務事業	S ・極めて貢献度が高い。 ・合計点14～1点	A ・相当程度に貢献度が高い。 ・合計点11～13点	B ・一定の貢献度が認められる。 ・合計点 8 ～10点	C ・貢献度が低い。 ・合計点 5 ～ 7 点	D ・極めて貢献度が低い。 ・合計点 4 点以下	
事業数	3 事業	0 事業	1 事業	2 事業	0 事業	0 事業	事業数	3 事業	0 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業	
主要な事務事業														
No.	所属名	事業名称			令和 3 年度評価		事業概要				令和 3 年度 実績			
1	上下水道課	【再掲】 水道未普及地区対策事業（飲料水）			A		水道未普及地域（上水道給水区域外）の住民が安定的に自家水を得るために井戸掘り、地下水汲み上げポンプの設置や沢水を貯めるタンク設置など自家水等の整備にかかる費用に対し、補助金を交付し、飲料水の確保を図るものです。				補助金交付実績：3件（前年度実績：1 件）			
2	上下水道課	【再掲】 浄化槽設置整備事業			A		公共下水道事業計画区域及び漁業集落排水処理事業計画区域を除いた町内全域、また、公共下水道による管渠施設整備が当分の間見込まれない公共下水道計画区域内（事業計画区域外）の住宅等を対象として、浄化槽設置の費用の一部を助成するものです。  浄化槽の設置を推進し、町民の生活環境水準の向上を図ることにより、河川及び海岸保全施設等、水環境の保全を図ります。				浄化槽設置基数：7件（前年度実績：5件）			